

休日6日増=本当に楽になるのか?

数字で見る現場のリアル JESSの休日増加から考える

【社員数(正社員)】 約2000人

年間休日増加数6日 ⇒ 2000人 × 6日 = 12000日分
年間労働日数約240日 ⇒ 12000日 ÷ 240日 = 50人

結論: 休日が増えても最低「50人」増えなければ休めない

JESSの現場の声は

- 呼び出しが増えるのでは?
- 超過勤務が増えるのでは?
- 離職が続く状況が改善されない?
- 安全が守れなくなるのでは?
- サービス低下になるのでは?



JR職場も同じ状況!?



設備職場では、23時～翌10時までの夜間作業勤務後に残って業務するのが常態化しています。ひどいときには17時頃まで残っていることもあります。年休を消化しきれない人もいる中、単純な休日数増加、勤務時間減だけで本当に労働条件改善につながるのでしょうか?

国労は休みが取れる要員増を求めます!

労働条件全般の改善を求め続けます!